


令和5年度 CSの運営に関するチェックシート

v1.0 2024年2月22日

 道塚小学校
学校運営協議会

はじめに

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

法律（地教行法第47条の5）に基づいて教育委員会が学校に設置する学校運営協議会には、主な役割として、

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

の3つがあります。

CSポートフォリオによる診断

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/chiiki-gakko/cs.html>

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）において運営をより良くしていくための診断ツールとしてCSポートフォリオによる診断が提供されている。

CS導入後に「効果が出ているだろうか」「改善すべき点はどこにあるのだろうか」といった自律的な改善に向け気づきの一手が得られるということで、道塚小学校 令和5年度学校運営協議会として「CSの運営に関するチェックシート」を実施することにしました。

令和5年度 CSの運営に関するチェックシート 結果概要

実施日 2022年2月9日(金曜) - 2月22日(木曜)

対象者 大田区立道塚小学校 令和5年度 学校運営協議会 委員 13名 (回答12名) (木曜)

■ A：できている

■ B：判断がつかない…もう少し

自律性		今回	A	B
協2	01.学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う	91.7	11	1
協3	02.学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある	100.0	12	0
協4	03.教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある	25.0	3	9
対等性				
協7	04.地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある	91.7	11	1
協8	05.子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある	58.3	7	5
協10	06.協議会内は、忌なく意見を出し合える雰囲気がある	91.7	11	1
持続性				
協12	07.学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている	58.3	7	5
協13	08.校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある	50.0	6	6
熟練度				
協15	09.「協議会で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることもある	33.3	4	8
協16	10.学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある	100.0	12	0
協18	11.協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある	83.3	10	2
実効性				
協21	12.協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている	100.0	12	0
協22	13.「議論の結果、各主体(学校・保護者・地域の大人等)が実行すべきこと・役割分担が明確になっている	91.7	11	1
共有性				
協27	14.学校の問題や悩みは、協議会委員の中で共有されている	100.0	12	0
協28	15.協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われている	100.0	12	0

令和5年度 CSの運営に関するチェックシート コメント

●自律性

91.70% 01.学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う



- ・会議の場で議論することもできるが、方針は継続しているため
- ・丁寧なご説明をいただいていると思いますし、議論もできていると思います。
- ・**校長先生の運営方針に賛同し意見交換ができています。**

100.00% 02.学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある



- ・学校運営協議会の会議において意見を述べる場がある
- ・学校運営に関してありのままご提案くださっていますので皆さん率直に意見を述べやすかった、また全員が意見を述べる機会をつくられたので。
- ・委員全員がそれぞれの立場から意見を述べて理解を深めている。
- ・**各委員ともそれぞれの立場から考えや思いを述べてきていたと思います。**

25.00% 03.教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある



- ・会議の場で述べることもできるが、該当のことがないため
- ・ただし、限られた時間で行うことから教職員の率直で具体的な意見を聞くにはもう少し時間が欲しい。
- ・任用についてということでは無いが、会議に度々先生方が出席されたことで、率直に意見を交換でき、繋がり、一緒に学校運営に携わっている実感がある
- ・**職員任用にまでは、まだかな？と思うので**

令和5年度 CSの運営に関するチェックシート コメント

●対等性

91.70% 04.地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある



- ・学校側からの提案だけではなく、地域の課題やこれから取り組みたいことなどの提案があったら良かったかなと思います。
- ・私が地域住民の立場として提案したことのひとつに交通指導員の配置転換があった。直後に校長先生のリードで実地見聞、すぐに改善することができた。
- ・委員に地域住民が選出されており、会議の場に意見や提案が持ち込まれている
- ・児童の安全を高めるための意見やサポートについて具体的に討議されている。
- ・学校と地域が子どもたちのために、良いと思う事、提案も受け入れてくれて伝え易い雰囲気がある

58.30% 05.子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある



- ・アンケート結果だけでなく、教職員から直接聞く機会があった。
- ・在籍児童が解決して欲しい課題を協議会へ提案するなど、児童から発信する機会があったり、時には児童を交えての協議があっても良いのかなと思いました。
- ・個人的には、飼育委員会に出席したり、地域人材として授業に参加したりする機会があるので、直に子どもの意見を聞くことができた。普段も子どもに近い担任の先生、校長先生を通じての報告が度々あるゆえに子どもたちの意見を身近に感じている。
- ・校長・副校長を通して、アンケートなどを通して、子どもの意見が会議の場に持ち込まれることはあるが、学校運営協議委員として直接意見を反映せる機会・仕組みはない。
- ・先生方とは話をすることはできたが、児童とは関わる機会はなかった
- ・今年度は卒業生もゲストとして参加し貴重な意見を聞く機会もあった。また日々の生活の中から校長先生をはじめ教職員が汲み取りを行っている様子がかがえた。

91.70% 06.協議会内は、忌なく意見を出し合える雰囲気がある



- ・3、4人でのグループ討議が忌憚りの無い雰囲気。特に解決を急ぐのでは無い、熟議する時間が与えられることでいろいろな意見が出て熟議の大切さを感じる。
- ・会議の場で述べる事ができている
- ・それぞれのお立場、分野でのご意見が多かったこと、他の方のご意見に反対はあまりなく、補足するような発言が多かったように思います。
- ・校長先生のリーダーシップの下、協議会委員は長く地域に根付いている方ばかりなので互いを尊重しつつ率直な意見交換ができている。
- ・活発な意見交換ができていると思います。

令和5年度 CSの運営に関するチェックシート コメント

●持続性

58.30% 07.学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている



- ・「すすんでよく学びよく遊び、感謝と挑戦の心を忘れない豊かな成長のため」「道塚マインド」を育てることは、会議の中でたびたび意見・議論されているため
- ・大枠は共有されていると思う。
- ・まだ、あいまいだと思います。学校の保護者への協力依頼の内容、学校と地域のこれまでの歴史、子どもたちと地域のかかわりなど総合的に考えて、ある程度はっきりした子ども像を共有するようにしたい。
- ・現実的には共有が難しく一種の移行期に差し掛かっていると思う。社会の流れに合わせる必要性、人格形成に最も大切な時期にいる子どもたち、現役保護者の価値観、地域性をなどを総合的にすり合わせる時間があればより具体的に見えると考える。
- ・かなり広く共有されていると思うが、学区が広く、多くの町会、自治会にも及んでいるので「地域全体に」の成果としては未だ難しい。ここは地域に属して、繋がりがあがる私たちがもっと働くことが必要だったかと反省がある。

50.00% 08.校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある



- ・会議の場で述べることもできるが、該当のことがないため
- ・まだわからない。
- ・時間を掛けて判断する必要があるかと思います。
- ・体制を整えて次へ繋げるようにして頂いていると思います。
- ・これまでも、これからも。ただし、社会全般において同じ問題を抱えていると思う。関係者の高齢化や新しい人材の発掘は厳しくなると予想。
- ・普段からこれを意識していないといけない。
- ・引き続き、学校側と地域で関わられるように、引き継ぎして欲しいです
- ・これからの協議会がどのような活動をしていくのかによると考えます。

令和5年度 CSの運営に関するチェックシート コメント

●熟練度

33.30% 09.「協議会で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることもある



- ・校長・会長で年間計画をきめている
- ・課題の選定や議論の企画段階に私自身が関わることはない。

100.00% 10.学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある



- ・会議の場で、委員から、学校から提案・意見があり、議論できている。さらに踏み込んだ課題・問題まで議論できるようになっていけばよいと考える。
- ・皆さん率直にご意見を述べられた、と思います。
- ・疑問に思った事などは議論し合えていると思いますし、質問などに学校側の先生方は丁寧にお答え頂いています。
- ・率直な意見を述べるよう努力している。
- ・提案事項の実現に向け、具体的な意見が挙がり、実際に取り組まれた事項も多かったように思います。

83.30% 11.協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある



- ・短期的なもの、長期的なもの、また、年度をまたぐものがあり、すべてを振り返ることは今のところ難しい
- ・時間が足りなかったのでは、と思います。
- ・協議会の時間などにも制限はありますが、それぞれに考えて参加しているので、充実した時間となっていると思います。
- ・他委員の方々は日頃より学校へ密接に関りを持っている様子。自身もっと積極的に行事などへ介入したいと思っているがまだ少ないと感じている。

令和5年度 CSの運営に関するチェックシート コメント

●実効性

100.00% 12.協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている



- ・ 経営者・リーダーとして推進しており期待する役割を果たしていると考えます。
- ・ 校長先生は精力的に頑張っておられました。
- ・ 校長先生のリーダーシップのもと一丸となって実行されていると思います。
- ・ **意欲的に取り組まれていると思う。方針や目的の明確化、理解を求める呼びかけなどきめ細やかな取り組みを行っている。**
- ・ 期待以上に果たして頂いている。
- ・ 協議会で議論された課題について、解決に向けた取り組みを行い、成果のあった事項は多かったのではないかと思います。

91.70% 13.「議論の結果、各主体(学校・保護者・地域の大人等)が実行すべきこと・役割分担が明確になっている



- ・ **学校・協議会委員およびその関係者の範囲では明確になっている、保護者・地域の大人の巻き込みはこれからと考える。**
- ・ 卒業までに100人の大人に出会う、との方針をワークショップなどで実践してきました。
- ・ 幼稚園との接続でしょうか。また、地域の関わりとして実行できる事はしてきたと思っています。
- ・ 3代でお世話になっているので歴史的・地域性などの背景を重んじ、客観的に意見を述べる。また展覧会においては体験活動などをサポート。学区粋で上履き販売を行い保護者や児童との接点をもって時には子育て相談にのることもある。
- ・ 主任児童委員の立場では地域との繋がりを生かして必要な情報提供をした。地区担当の民生委員と協働して、先生方から相談をうけた子ども、家庭に支援、見守りを行った。特に外国にルーツを持つ子ども、家庭への理解に努め伴走型支援を続けている。ラビットクラブ(飼育ボランティア)の代表の立場では、飼育動物、担当の先生、子どもたち、保護者が年度で変わっていく中、切れ目のない世話をするために常にたくさん子どもたち、大人たちとコミュニケーションをとっている。今年度、モルモットを迎えたいと提案した6年生には卒業しても関わってもらいたいので「ジュニアラビットクラブ」(校長先生命名)を立ち上げ始動する予定。
- ・ 自治会とし出来る事 協力をする。
- ・ 学校からの課題を受け、その解決に向けた活動の土台が出来つつあると思います。スクサポとしても、従来の活動よりも一歩進んだ活動が出来たのではないかと思います。一歩進んだことで、見えてきた課題もあります。これからは、見えてきた課題解決と、さらにもう一歩踏み出す活動が出来れば良いなと思います。

令和5年度 CSの運営に関するチェックシート コメント

●共有性

100.00% 14.学校の問題や悩みは、協議会委員の中で共有されている



- ・会議の場で共有されている。ただし、問題・悩みに対して全てがフォロー・解決できているわけではない。
- ・働き方改革はまさに全員が共有していました。
- ・率直にいつも会議で校長先生がお話くださっていますので共有できていると思います。
- ・学力や家庭学習、外遊びの減少、体力不足、防災、登校拒否など多岐にわたる課題を共有している。
- ・協議会のなかで充分意見交換が来ている。
- ・きっと、もっと、いっぱいあるでしょうけど

100.00% 15.協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われている



- ・協議会での内容は、重要秘いがないものは、道塚小HPで公開している。また、ゲストに対して公開されている。
- ・議事録を細川さんがアップする前にメンバーに確認を取られていらした事。委員が協議内容に基づいてそれぞれのお立場で発信なさっておられました。
- ・協議会ではいつも最新の情報を教えて下さっていますので十分だと思います。
- ・細川委員は情報発信の大きなサポートになっている。
- ・細川委員がHPに載せてくださっているので、私はこれをさらに、地区担当の民生委員に報告している。
- ・SNSの利用により、CSの周知が少しずつ進んでいるのではないかと思います。協議会の議事録に目を通していただいている保護者もいるようです。

令和5年度 CSの運営に関するチェックシート コメント

フリーコメント

- ・協議会資料などを継続的に活用していくため、委員で共有するための共有フォルダ、ネットワークを使える環境が必要
- ・学校の教職員には任期がありますが、地域住民は永続的です。地域とのかかわりについて、学校運営協議会で協議し実践してきたことを大事にして、さらにこの町が発展し繁栄してほしいと願っております。
- ・協議委員として、まだまだ出来た事があったのではと思っています。
- ・学校で開かれる協議会の他にも、グループLINEで校長、委員からの情報、提案、報告が逐次あり全員で共有されている。
- ・学校運営協議会に参加して、明るい雰囲気の中、各委員様が協議会の意義をご理解し、開かれた建設的な意見交換が行われてきたと思います。また今後は協議会から上がった意見要望等に対し、行政側の対応を考慮し、見届ける必要があると思います。
- ・これからも、先生方の困っている現状を聞き、地域で協力できることがあるか？引き継ぎ考えたい。
- ・校長先生のリーダーシップのもと、学校運営協議会が適切かつ有意義な存在になっていると思います。地域と共に学校経営を行っていくという明確なビジョンがあり、方向性がぶれずに進んでいくことができていると感じています。温故知新を大事にしつつ、時代に応じた視点で多角的に捉えて、子供達・先生方・地域の皆様が一体となった道塚小学校の更なる発展を期待しています。